

看護部日記

# 新人看護師がやりがいを持ち続けられるようサポートしていきたい

平成22年4月から新人看護職員研修が努力義務化となりました。看護研修管理室では、新人看護職員を支援、サポートしていくことが主な業務となっています。4月になると、25〜35名程度の新卒看護職員が緊張と不安、希望をもって入職します。

新人教育では、現場で必要となる知識や技術の集合研修



を年に10回程度企画し、実施しています。4月には、感染対策や医療安全、褥瘡予防、注射の方法など、すぐに実践に活かせる研修を4日間集中して行います。

病棟勤務となつてからは、病棟に馴染めているか、困ったことがないかを確認するため病棟ラウンドを行つています。新人看護職員は、1年間で到達すべき看護技術項目がたくさんあり、業務として覚えることも多数あります。年代の違った多くのスタッフ、患者さんと関わることに慣れていません。求められる期待に因應するため、日々一生懸命です。時にストレスで押しつぶされそうになりながら過ごしています。個人面接を行



看護研修管理室  
かねだ す み え  
金田 須美枝

い、一人ひとりの看護技術の習得状況を確認したり、悩みを聞いたりしています。今年度から、お互いの近況を報告し合い、悩みを共有しようという目的で、新人交流会を行っています。

看護職は、生命に直結し、大変責任の重い仕事ですが、自分の行った看護行為が患者さんを励まし、役に立つことができた時の喜びは、何事にも代えがたいものです。

一年目の辛い時期を乗り越え、看護の楽しさ、やりがいを経験し、看護の仕事を続けていってほしいと願っています。新人看護職員が、一人前の看護師として成長できるように今後も支援していきたいと思えます。

## 上司から一言



看護部 部長  
いけだ ゆりこ  
池田 由利子

金田須美枝さんは、平成12年に看護教員講習を受講して教員から看護の現場に戻り、新人看護師や看護学生の実習環境を整えることを中心に、竹田総合病院の看護教育の主要な一員として能力を發揮してもらっています。

看護師は、看護現場にとどまらず教育や管理、連携や調整をする役割を担い、患者さんに「あなたがかい心とたしかな医療」を提供できるために、医師と格闘しながら頑張っています。

これからの竹田の看護を背負う多くの人材が、希望を持って成長できるように、金田さんやその仲間たちと教育環境づくりに取り組んでいきます。